

宇佐ランタン株式会社（製造業）

＜提灯の伝統的な製造方法を分業化することにより、ビニール提灯の生産数「日本一」を達成＞

◆ダイバーシティ経営の背景

- ・ 提灯の製造は伝統的に家内工業（内職）が中心であり、職人が全工程を手作業で作り上げる工芸品であったが、昭和 56 年に工場近くの福祉施設からの依頼で知的障がい者を雇用したことを機に、製造工程を分割し、障がい者雇用と提灯製造の産業化を両立させてきた。

◆取組内容

- ・ 知的障がい者に提灯づくりの次代の継承者として中心的な役割を担ってもらうために、製造工程の分業化を行った。伝統的な提灯製造を、①型組・ヒゴ巻き、②のり付け・生地張り、③乾燥・型抜き of 3 工程に分け、それぞれの障がい者にとって得意とする作業を割り当て繰り返し作業とした。
- ・ また、従来は木製だった型を金属製にすることで変形を無くし、障がい者が一定のリズムで繰り返し作業ができるようにした。ほかにも、作業の一部を自動化させるための機械の開発・導入等を進めるなど、生産性を上げる工夫に絶え間なく取り組んだことで、障がい者が無理なく作業できる一貫生産体制を構築してきた。
- ・ 障がい者の適性を見極めるため、入社決定後の 1 年間に体験作業を 3 回実施し各種工程に携わってもらい、その作業の様子を見て入社後に担当を決めている。このプロセスで、生産性を向上させる適材適所を実現するとともに、社員の工場勤務へのスムーズな適応が可能になっている。
- ・ 分業体制で製造された提灯の品質を担保するために、業務時間の開始と終業のタイミングで、20 分の検品作業時間を確保している。社員同士で検品作業を行い、お互いにミスを教え合うことにより、技術の習熟度向上だけでなくコミュニケーション能力の向上（社会性の向上）にもつなげている。
- ・ 近隣の小学生に対し、提灯づくりの実習として障がいを持つ社員がヒゴ巻きやのり付けを指導している。人に「教える」立場を経験することにより、人間関係構築や技術の習熟に役立っている。

◆成果

- ・ 提灯の製造工程について、知的障がい者でも働きやすいよう環境改善や製品改良を行った結果、従来の製造方法では対応出来なかった受注量や納期にも対応が可能になり、ビニール提灯の生産数日本一を達成した。また、もの作りを通じ地域経済に貢献している企業として「平成 21 年度元気なモノ作り中小企業 300 社」（経済産業省中小企業庁）として選定されている。

＜企業概要＞

設立年	1984 年	資本金	10 百万円
本社所在地	大分県宇佐市橋津 29-4		
事業概要	ビニール製の提灯の製造卸		
売上高(※)	115 百万円 (※)直近決算期(2012 年 9 月)		

＜従業員の状態（単体）＞

総従業員数	14 人(うち非正規 0 人)
属性ごとの人数等	【女性】9 人 【65 歳以上】1 人 【障がい者】9 人
正規従業員の平均勤続年数	18 年